

中小河川でも使える 水防災に関する技術情報集Ⅱ

令和6年10月

一般社団法人リバーテクノ研究会

まえがき

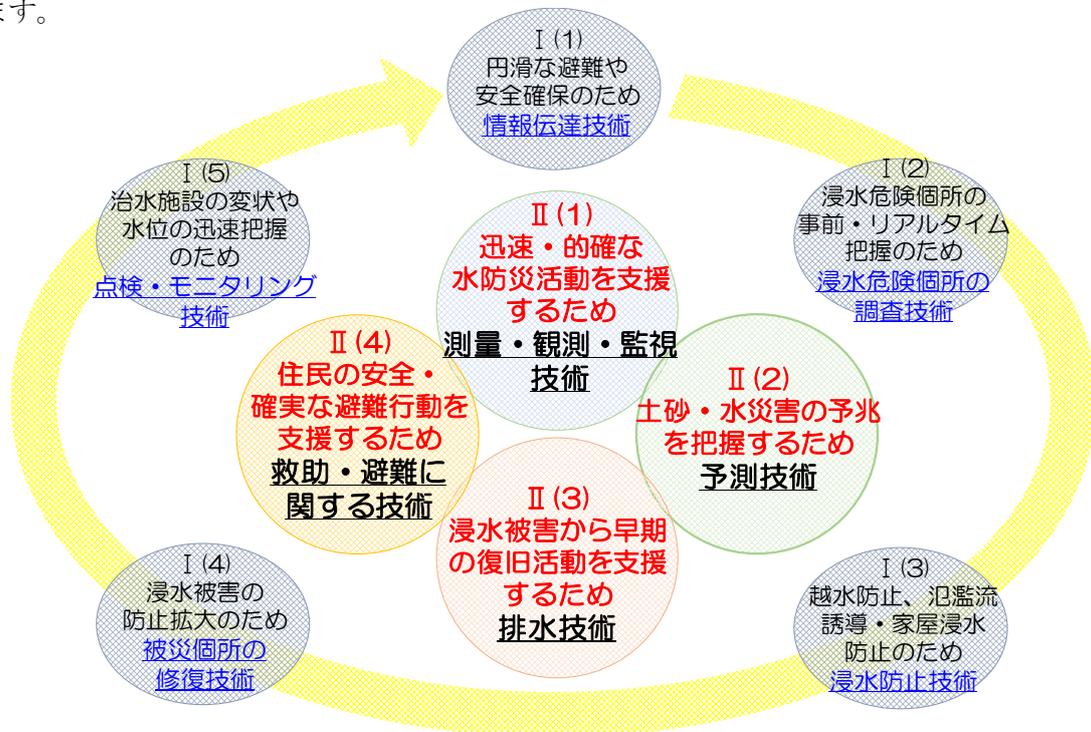
本技術情報集は、自治体や水防団などで水防災活動に取り組む際の参考技術として、「中小河川でも使える水防災に関する技術情報集Ⅰ」に記載した技術項目を拡充し、多様な場面、局面で活用してもらうことを目的としています。

技術情報集Ⅰでは、円滑な避難誘導やハザード把握のための情報伝達(1)および浸水危険個所の調査技術(2)、浸水被害の軽減と拡大防止を図る浸水防止(3)および被災個所の修復技術(4)、施設の変状を把握する点検・モニタリング技術(5)に関する5つの技術体系(項目)の情報を記載しています。

本技術情報集Ⅱでは、関連する技術の拡充として、下図に示す4つの技術体系(項目)を加え、平常時から土砂・水災害時の被災状況に至るまでをモニタリングし、迅速な水防災活動や避難行動を支援する測量・観測・監視(1)および発災の予測技術(2)、早期の復旧活動を支援する排水技術(3)、救命活動を支援する救助・避難(4)に関する技術情報を記載しています。

平時の備えから災害対応、復旧に至る水防災活動のフェーズにおいて、これらの技術情報を活動の一助にいただければ幸いです。

なお、水防災技術は日々進化しています。本技術情報集の中に記載した製品は、令和6年10月末時点で、HPやパンフレット等により一般に公開されているもののうち、実用化されているものや一部研究中のものを参考事例としてとりまとめたものです。情報集に記載した技術情報や製品に関する問い合わせは、記載されている開発会社や出典先に直接お願いします。



図中外縁に示すI(1)~(5)の各技術は技術情報集Ⅰに記載した技術

水防災技術体系図Ⅱ

令和6年10月
一般社団法人リバーテクノ研究会

■技術情報集の基本的な考え方

- ・ ユーザー
→自治体、水防団、民間企業、地域住民
- ・ 用途
→水防技術の採用（製品購入）の判断材料
- ・ 取り扱い対象
→製品化されているもの
→従来型の水防工法は含まない（土のう等）
- ・ 公開及び配布方法
→リバーテクノ研究会のホームページ（pdf 閲覧&ダウンロード可）

■技術情報集Ⅱの技術項目

- 測量・観測・監視技術（測量技術） (P. 1)
- 測量・観測・監視技術（観測技術） (P. 17)
- 測量・観測・監視技術（監視技術） (P. 83)
- 予測技術 (P. 92)
- 排水技術 (P. 123)
- 救助・避難に関する技術 (P. 141)

■各技術の整理項目

- ①製品・技術名称／開発者名称
- ②製品・技術の概要及び特徴
- ③製品・技術の写真／図
- ④製品仕様／規格
- ⑤参考価格
- ⑥適用場所、適用例
- ⑦適用時の留意点
- ⑧性能確認試験結果／準拠基準
- ⑨出典（URL 等）